

【6/22 ハイブリット開催】

シンポジウム・ウェルネスフードにおけるエビデンスのあるべき姿とヘルスケア産業の未来

健康維持や疾病予防に役立つ食品としてのウェルネスフード（保健機能食品、機能性表示食品など）は市場拡大とともに年々消費者の関心が高まっています。

2015年に機能性表示食品制度が開始してから現在に至るまで、いわゆる健康食品から加工食品、生鮮食品へとウェルネスフードの領域が拡大し多様化しています。

しかし、現在のところ、ウェルネスフードの効果や安全性に関する科学的エビデンスの質や量はまちまちであり、消費者やヘルスケアプロフェッショナルが信頼できる情報を得るには、さらに進んだエビデンスの標準化が求められる状況にあります。

このシンポジウムでは、ウェルネスフードにおける科学的エビデンスの標準化に向けた取り組みや、エビデンスの評価方法について、また、ウェルネスフードがヘルスケア産業に与える影響や、将来の展望についても議論されます。

消費者やヘルスケアプロフェッショナル、ウェルネスフード産業に携わる人々にとって、ウェルネスフードに関する科学的エビデンスについて理解を深め、信頼性の高い情報を得ることができる貴重な機会を提供します。

■共催：一般社団法人ウェルネスフード推進協会、株式会社RDサポート

■開催日時：2023年6月22日（木）15：00-17：30 ※17:45より懇親会あり

■開催形式：会場およびオンライン

■開催場所：日本橋ライフサイエンスハブ（東京都中央区日本橋室町1丁目5-5 室町ちばぎん三井ビルディング8階）

■参加費用：

- ・ウェルネスフード推進協会会員およびメディア：無料
- ・非会員：3千円（シンポジウム参加のみ）、6千円（シンポジウムおよび懇親会参加）

■登壇者：※登壇順

- ・細山浩氏（特定非営利活動法人日本抗加齢協会 事務局長）
- ・橋本泰輔氏（経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課課長）
- ・新井剛史氏（消費者庁 食品表示企画課 課長補佐）
- ・橋本正史氏（一般社団法人健康食品産業協議会 会長）
- ・森下竜一氏（大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄付講座 教授）※ファシリテーター

■詳細・申込：

・ウェルネスフード推進協会会員およびメディアの方はこちらから

https://rdgroup.seminarone.com/20230622wfasymposium_member/event/

・非会員かつ現地参加希望の方はこちらから

<https://20230622wfasymposiumlocal.peatix.com>

・非会員かつオンライン参加希望の方はこちらから

<https://20230622wfasymposiumonline.peatix.com>

■問合せ：

一般社団法人ウェルネスフード推進協会 事務局

info@nihon-kenko.jp